

ひまわり日記

No. 3

H28.6.13

船橋夏見特別支援学校

校長 小室 いづみ

～学校という場所は、とてもステキなところです。登校してきた生徒たちの元気な声が校内にひびき、先生方の生徒たちへの声かけが聞こえ、そよぐ風や鳥のさえずりが聞こえてきます。そんなステキな学校の校内の様子や校長として私の考えを、折々にお伝えしたく、この日記を始めます。ご覧いただき、励ましやご意見をいただければ、幸いです。～

6月13日（月）は本年度第1回の学校公開日でした。

雨と風が吹き荒れ、スクールバスも遅れる中、学校公開を申込まれた参加者がお出でになりました。事前申し込みは61名、当日都合や悪天候のため欠席もありました。去年は開校1年目で準備や広報も難しく、たった1名の参加だったそうですから、当日参加53名は凄いものです。



姉妹校の県立船橋特支からは教頭先生他、保護者8名、近隣の本校が担当する通級の生徒や保護者の方9名、小学校や高校の教員9名、浦安・八千代・船橋の行政の福祉関係の方6名、その他千葉県福祉援護会や本校卒業生もお世話になっている福祉作業所など20名。様々な立場の方がお出でくだ

さいました。

全体説明の後、5つの班に分かれて校内見学と授業参観です。本校生徒たちも授業参観には慣れたものの。教室内に見知らぬ見学者がゾロゾロいてもマイペースで自分の学習や作業を進めていました。



見学後は再び会議室で、『本校の給食』の様子をビデオで見てもうもらいました。「再調理」という個々の摂食段階に合わせた調理方法を撮影したものです。調理室は管理が厳しくて見学の機会もなく、私もじっくりと見たのは初めてでした。「普通食」「やわらか食」「軟固形食」「ペースト食」「超ペースト食」5つの段階の食事を本校では、全て食堂で準備します。キウイのペースト作りは皮むき、全ての種除去（黒い粒々全部）、ミキサー、裏ごしの段階を終了して、やっと完成！「う～ん、スゴイ」参加者もどよめいていました。本校の南雲栄養教諭の腕前の素晴らしさは聞いていましたが、こういった手順も含めて調理員さんたちを段取り良く指導しているとは…驚きました。



終了後のアンケートにも「先生方が生徒たち一人一人を大切にしているのが良くわかった。」「調理の手間がすごいと思った。」等の感想がありました。

* // // // // // * // // // // // * // // // // // *

この日より前、11日（土）には、本校グラウンド施設解放希望者による調整会議が行われました。グラウンドの開放は、昨年度から要望があったそうで、今年より初めて行います。詳細は、本校のホームページでお知らせしてあるとおりですが、5つの団体が名乗りを挙げました。地元の少年野球チームやサッカーチームばかりです。地元のお役に立つのは嬉しいのですが、本校のグラウンドは高校統合以降、手入れもなく荒れ放題です。施設の的にも日除けや水道設備がありません。トイレも体育館裏にあるトイレが2つのみです。説明会后、実際に施設を確認してもらいました。その後の調整は譲り合ってスムーズに行われました。今回は7月から9月分までの使用会議です。10月以降の分はまた改めて行われます。



団体の代表者には、御近所に決して迷惑をかけない使用をお願いしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。